

大浜小だより

NO.10
令和2年11月20日(金)
玉名市立大浜小学校
校長 寺岡 伸義

コロナ禍において

玉名市でも複数のクラスターが発生し、新型コロナウイルス新規感染者が急増する中ですが、学校では、ソーシャルディスタンスに配慮しながら、様々な教育活動を実施しました。今月実施した、いくつかの活動を紹介します。



アウトリーチ活動(行事)
エレクトーン演奏会の後、6年生は特別に、ステージの上で演奏を見せてもらいました。



宿泊教室(5年校外行事)
ニジマスを手づかみし、内臓を出して焼いて食べました。



読み聞かせ(朝の活動)
やっとスタートできました。子供たちは楽しみにしています。



栽培活動(生活等)
畑の野菜もしっかり育っています。今月は、低学年は芋ほりを行いました。思っていた以上の収穫に、子供たちも笑顔でした。



クリーンタイム(業間)
花壇の草取りをしたり、市や花工房「てんすい」からいただいた花の苗を植えたりと環境整備に努めています。



福祉教育(4年総合)
4年生は、市福祉協議会の協力を得て、福祉教育に取り組んでいます。障がいをもっておられる方との交流を深める中で、点字も教えていただきました。みんな、とても真剣に取り組んでいます。



音読集会(業間)
今年、初めて実施しました。大きな声を出すので、2年生の発表の際には、口元が見えるように、フェイスシールドを付けてもらいました。

研究授業(1年道徳)
1年生にとっては、初めての研究授業になりました。みんなとても張り切り切って、発表してくれました。授業中の姿勢もきちんとしていました。